

綱領

1. われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて、われわれの権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2. われわれは、常に暴力と独裁を排し、自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
3. われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによつて、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新労ニュース

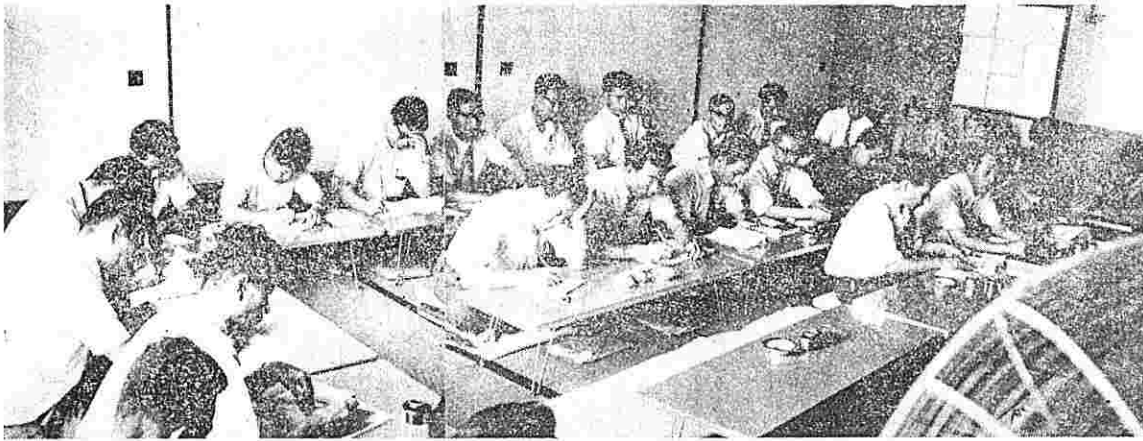
発行所
日本赤十字新労組連合会
(略称「日赤新労」)
東京都港区西新橋3の14の5
Tel・東京434-7080
発行責任者
吉原三郎

彦根市は滋賀県琵琶湖東岸にある人口六万の都市である。井伊家三万石の城下町として古い町並みを残している。
湖畔の芦川沿いに築城された金亀城(彦根城)一帯は公園となり昔をしのぶ旧跡が各所に見られる。
われわれ新労第四回学習会は、この歴史的由緒ある彦根市に於て七月二十日、二十一日の二日間にわたり、全国各地より集結した、書記長及び本部役員三十五名をもつて開かれた。
会場にあてられた湖城荘は琵琶湖のさざ波が窓際までヒタヒタと打ち寄せてはいるもの、連日三十三度を越す暑さに、モサ連と自他共にゆるす書記長連中も、いささか疲労気味然しさすが単組に於ける、チーフリーダー達。懸命な学習態度には、単組をしようとして立つ自信と責任感が強く感ぜられた。

【出席者】 敬称略

- 工藤三夫・吉田栄司・岡義郎・横田謙二・菅田泰夫・田中実・三木和夫・高瀬裕基・小川幸雄・藤井克治・村岸義明・宮原義彦・藤

第四回学習会 議開かる!
 七月二十一日
 彦根市

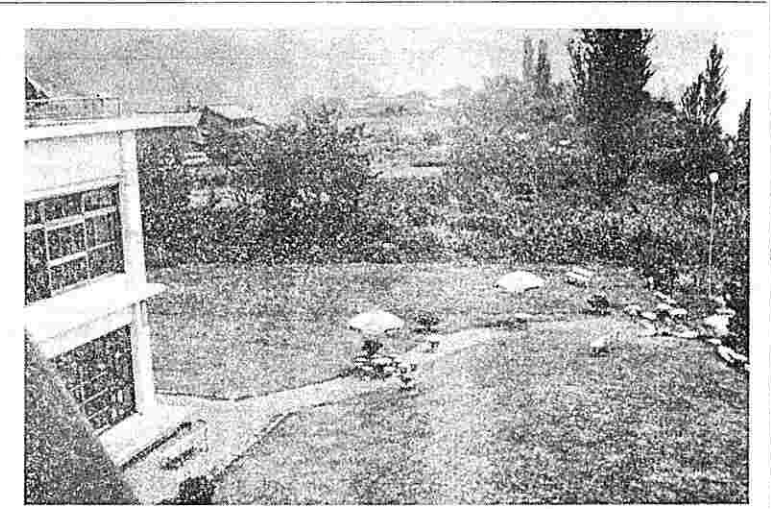


(書記長学習会議場 彦根市・湖城荘)

田敏子・隈部正・工藤三夫・大倉敏・景芳・太田康夫・小橋きし枝・野子・高木さと子・西川喜一郎・山見山淑夫・渡辺康喜・甲斐善夫

小崎委員長は概ね次の如く挨拶された。
組合に於ける書記長の責任と力はその単組におよぶか新労にとつても組織の力に非常の影響がある。組合員大衆を引っぱりあげては後を押し常に情勢を分析して、われわれ労働者のため前進してもらいたい。近々人事院に於てもベアの勧告が行われること必至である。どうか有意義な学習会である。どうか有意義に学習されるよう希望する。

- 渡辺才人・末広波男・長谷川岩三
木崎嘉秋・小崎寿美男・川出富治
山川茂・吉原三郎
- 日程は次の通り
- 1 小崎執行委員長挨拶
 - 2 自己紹介
 - 3 記念撮影
 - 4 講演 名工大教授 実野利久
 - (5) 今後の労働関係 成瀬勇一
 - 6 映画 団体交渉、その他



(湖城荘)

自己紹介
普通の形式と違った方法でやろうというところで各人が、五分間位づつ議長席につき出身単組名・職種・組合歴・趣味・貴重な経験談等面白く披露してもらった。
中には苦しい経験談やモーラスな話、各人各様の豊富な話題に思わす手を拍き、爆笑のうちに紹介が終った。
各書記長の話をきいていて特に気がついたことは、組合の仕事に於いては、非常に熱心であることはいふまでもないが、一たび組合の仕事が放れたら皆んな飯より好きな趣味が多い事。スポーツ・登山・釣り・開基等、又書記長の平均年齢が非常に若いこと。これからの運動よりも精神の豊である。毎日組合の仕事の余暇にはげんでおられることである。
一室に閉じこもり、何時も党或は政治問題等に頭をなやませていると次第々々に精神の平衡を失い、極端な左か右に傾いていつてしまふのではないだろうか。
民衆教育の指導等考えても、よくわかるような気がする。
若人よ、ギラギラ輝く太陽の下へ出て、心身共に健康になり、そして

純粋な組合運動に徹すべきだ。
記念撮影
自己紹介の後、一同全員宿舍支関前に集合し、静岡支部末広氏の好意により記念撮影。
昼食後一時より本題の講演に入った。講師の要旨は次の通り
『物価と賃金』 実野氏
病院という所は昔から封建的色彩が強い。従つて聖職という美名の中に賃金問題等の要求を吸収してしまふ傾向がある。この点は根本的に頭を切り替える必要があることを力説し、従つて時代の流れに従つて変つていつた賃金の形態を説明し、特に終戦後インフレを経済から今日まで、所謂日本の年功序列賃金が、最近に至り年率給が少しづつ、これに加つて来た然し完全な年率給になることは、自分の間考えられないだろう。
(労働組合の賃金要求の限度)
○極左分子のいう企業を完全無視することは出来ないであらう、なんとなれば企業の破壊があることも考へなければならぬ。
最近の経営者は非常に無責任になつてきた。争議を閉鎖して平気で、きつと工場を閉鎖してしまふ。従つて、こつち経営者には法的な罰則を作る必要がある。
赤字企業に対する要求は、経営者に対し最高の効果の上の方法で、これを徹しく追及するしかない。そして或る程度の経営者に対する参加も必要であり、場合によっては経営者の陣要求も正当である。
○鳥取
唯ここで気を付けることは、愛社精神と労働者意識は相反するし、生産性の向上を労働条件にシヨせしてはならぬ事である
(講師との質疑応答)
○鳥取
質・先生は職間の賃金の差は、ない方がよいといわれたが、答・今の日本は頭を使つて仕事をする人が高く、筋肉労働をする人を軽く見勝ちである。仕事には差がないわけだから当然賃金も同じであるべきだ。
○大田原
質・社内預金は金が外部へ出るのを防ぐだけで、これもつて労働者を固定化しようという裏がある。
○水戸
質・経営権について
答・経営権・人事権等すべて法的な規定は無い。

午後六時より、懇親会が開かれ、わずかではあるがビール一本づつ各人に配られ初日の慰労と雑談に打ち興じた。尚名古屋第一日赤よりビール一打の寄附があつたことを付け加えておく。
続いて午後八時より、九時三十分まで組合関係映画が、名映写マン名古屋第一日赤宮原氏により上映された。
(第二日目)
一、執行部との懇談
来るべきベアに対する各人の決意と単組の状況又は、方針等を詳細にわたつて発表があつた。
○石巻の巻
○盛岡
今年本社交渉に全力をあげよ本社が、ふみきればできる。
○浜松
組合意識が低いので当局に、ナメラ意である。今年には四つに組んで斗争したい。
○三重支部
支部にあつては組合意識は非常に低い。現在の所は斗争以前の意識の向上をはかるだけだ。
○前橋
病院に於ける財源の苦しさは解つてはいる。ただ経営者の猛省をうながすだけである。
○山田
同場同率にやる以外手なし。
○益田
人件費が五割であり、非常に苦しいが本社決定の線だけはまもりたい。
○長浜
現在の所組織固めに追われている。
○鳥取
夏期手当の時も、スト権を確立した。院長及び院長連盟を動かす必要がある。当病院長は前向きでやるといつている。
○大田原
夏期手当についてスト権確立、りぼん斗争もやつた。結果は、かんばしくなかつた。然し、これもベアの斗争に好影響をもたらすと思う。うちは戦術は決定している。
○水戸
態度は決定している。本部の動きに歩調をあわせたい。そして

質・経営権について
答・経営権・人事権等すべて法的な規定は無い。

質・先生は職間の賃金の差は、ない方がよいといわれたが、答・今の日本は頭を使つて仕事をする人が高く、筋肉労働をする人を軽く見勝ちである。仕事には差がないわけだから当然賃金も同じであるべきだ。
○大田原
質・社内預金は金が外部へ出るのを防ぐだけで、これもつて労働者を固定化しようという裏がある。
○水戸
質・経営権について
答・経営権・人事権等すべて法的な規定は無い。

質・先生は職間の賃金の差は、ない方がよいといわれたが、答・今の日本は頭を使つて仕事をする人が高く、筋肉労働をする人を軽く見勝ちである。仕事には差がないわけだから当然賃金も同じであるべきだ。
○大田原
質・社内預金は金が外部へ出るのを防ぐだけで、これもつて労働者を固定化しようという裏がある。
○水戸
質・経営権について
答・経営権・人事権等すべて法的な規定は無い。

「長浜全日赤労組ついに くたばる」

昭和三十七年長浜全日赤労組の分裂により、長浜日赤新労が誕生した。長浜全日赤労組は、前院長を擁護し、思ふままに共産系組織を確立してきたが、ついに昭和四十年十二月、本社、厚生省の病院調査及び、日赤新労連合会の長浜日赤院長の強い退陣要求により、院長は昭和四十一年二月二十八日退職した。

その後四月一日病院再建を目的とした財津院長、生物事務部長、日赤新労等との反響に会い、ついに七月一日、全日赤組合事務所の明け渡し要求となった。

これにより全日赤はついに分裂をおこし、四十名余の脱退者を出し、一方新労に加盟するものが多く、吾々の目的を遂げた。

病院長は「経営不振を建て直すためやむを得ない処置だ」といい、組合側は「組合活動の弾圧だ」と不信をのこす。

その間に立つて、患者達は不安な目でその争いをみつつも、一日も早く円滑な病院運営を望んでいる。然し強引な明け渡しを機に両者の間は一層ミソを深めた感だ。

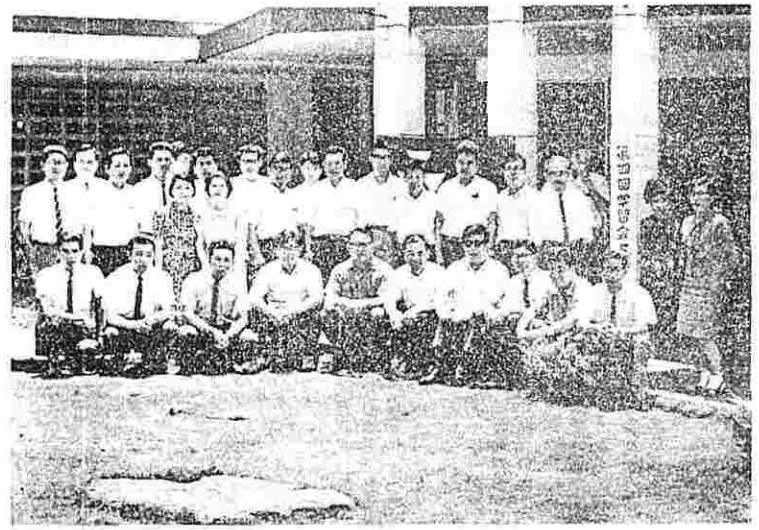
患者の不安をよそに、争いは、いつたいつまで続くのだろうか……

警官十人が出動して強引な明け渡しの行われた翌二日の病院内は、前日の騒ぎが信じられないような、落ち着きを取り戻していた。

騒ぎの焦点となつた組合事務所では、さつそくシーツ等の寝具が手押車でせつせつ運びこまれていた。同病院の話によれば、この五月から完全看護の一部として基準寝具制をとり入れた。これは患者の寝具はいつさい病院が世帯するといふもの。

そこでこの寝具を納める部屋が必要になり、休診中の眼科室などを当てていたが、一日から眼科が再開されることになつたので寝具室に求めた。所が再三にわたる要請にもかかわらず、全日赤労組が明け渡しをしないため、やむなく強制執行に踏みきつたという。

ともいふ、こんな問題を引き起したという事は、明らかに前院長の保身的経営の一端を示すもので、独立採算制をとる日赤病院にあつては、とつづく昔に解決していなければならぬことである。



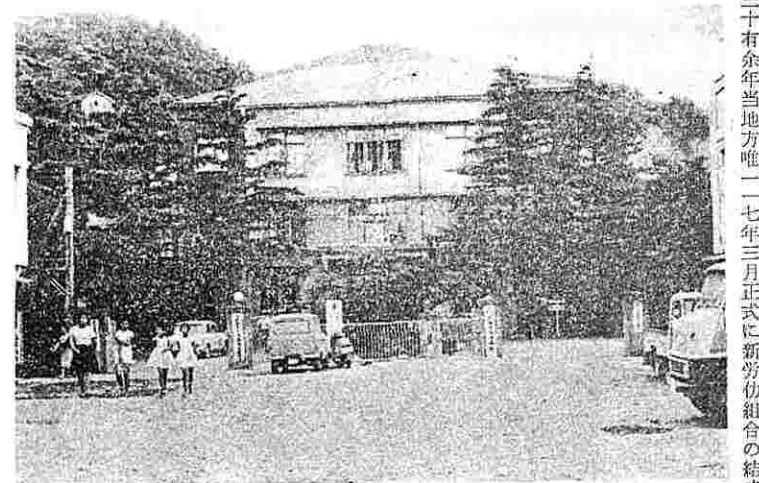
第4回学習会議記念写真

吾々の町石巻は、仙台より仙石線にて途中日本三景の一の松島をへて一時間四十分の地にあり、全国的に有名な遠島甚句の発祥地でもあり、近くに金華山や捕鯊の港鮎川をよゆうする風景明媚な人口十萬の港町である。

石巻赤十字病院は、大正十五年創立、昭和八年現在地に新築移転され、以来三十有年余当地方唯一の総合病院としての役割を果して来たが、施設は老朽化し、新築都市指定を期に建物の改築を望む声があり、近づくに金華山や捕鯊の港鮎川をよゆうする風景明媚な人口十萬の港町である。

石巻赤十字病院は、大正十五年創立、昭和八年現在地に新築移転され、以来三十有年余当地方唯一の総合病院としての役割を果して来たが、施設は老朽化し、新築都市指定を期に建物の改築を望む声があり、近づくに金華山や捕鯊の港鮎川をよゆうする風景明媚な人口十萬の港町である。

石巻赤十字病院新労働組合



あつて料理は得意中の得意。総べてスケールが大きく計画性に富み、何事にも動じない逞ましきの中にも古典的な雰囲気をかもしだす彼女、特に和服姿は引きつける。我々女性の目を惹きつけるだけにはその好みも良く折々に新調衣食に關しては遠路、時間を問はず要求を満たし、独り身の特權として常に新鮮なムードで生活を築きしむ彼女ならでとは羨しくさえない。

看護の道一筋に生きて二十年、病院長に於ては外来婦長として各科診療部門、中央手術室、中央材料室の責任を持ち、又外渉に關する一齊を担当、持ち味を生かしてきほげと処理出来る活躍振りに誰しもが賞讃……

に踏切り、直ちに日赤新労に加盟した。

同志会の結成といふ、新労誕生後の状況といふ、決して平坦なものではなく、正に嵐の中の行進として然し吾々は病院長の再建と正しい労働組合の確立を目指し、ともすれば前途な病院当局と極左勢力の圧迫に埋没しがちであつたが、共に動し合ひ将来に確信をもつて行動し、遂にその努力が報いられる今日、院内の労働関係の主導権は完全に吾々の手中に帰することが出来た。

これ以上へに組合員自身の努力に負ふは勿論であるが、同時に日赤新労及び友誼団体の強い支援の賜であることを深謝致して居ります。

然しながら吾々の目標は、単に極左勢力の排除のみではありませぬ。いづゆる、自由にして明朗な民主的労働運動を推進し、豊かな生活と明るい職場の実現に邁進したくまじい組織労働者に成長することにあります。

そして産業民主主義確立の一翼を担い、たえざる改革の積み重ねにより、より良い事徳への漸進的前進を期待するものであり、もつとも重視すべきものは改善への努力の過程であり、その努力に取り組む姿勢の問題である。

病院はこの面では一世にも遅れがある様に思ふが、たゆまざる努力の集積が吾々の目標、スローガンが実現されるものと信じます。

労使はあくまで車の両輪であり、一つのパートナーであると思ふ。

左翼社会主義革命論は一見革新的戦闘的に見えるが、現実の中にあつてもつとも非革新的な敗北

単組めぐり

吾々の町石巻は、仙台より仙石線にて途中日本三景の一の松島をへて一時間四十分の地にあり、全国的に有名な遠島甚句の発祥地でもあり、近くに金華山や捕鯊の港鮎川をよゆうする風景明媚な人口十萬の港町である。

石巻赤十字病院は、大正十五年創立、昭和八年現在地に新築移転され、以来三十有年余当地方唯一の総合病院としての役割を果して来たが、施設は老朽化し、新築都市指定を期に建物の改築を望む声があり、近づくに金華山や捕鯊の港鮎川をよゆうする風景明媚な人口十萬の港町である。

石巻赤十字病院は、大正十五年創立、昭和八年現在地に新築移転され、以来三十有年余当地方唯一の総合病院としての役割を果して来たが、施設は老朽化し、新築都市指定を期に建物の改築を望む声があり、近づくに金華山や捕鯊の港鮎川をよゆうする風景明媚な人口十萬の港町である。



プロフィール
日赤新婦人部長
原 貴佐子

現在単組の副執行委員長の重責を持ち、単組の発展に大いに貢献し、同志会に温情を持って接し、明朗な性格は誰からも親しまれ、多くの業績を残したそのキャリアは、発展途上にある日赤新労の婦人部長として器用なその業務を全うする最適任者であることは言を疑はず、小崎執行委員長を中心とする新役員の本軸となり良き人間関係を作り、時には良きアシスタントとして充実した組織活動を築き、目的遂行の為に活躍されることと思ひます。

日赤新労の皆様、今後の活躍を期待され、共に育てるべく大いに努力し、新労の発展を祈念致します。

最後にあえて難と申せば、結婚

主観と評するほかない。吾々は、かゝる思想と対決し、明日の病院を建設するため、たゆまざる前進を続けなければならぬ。

闘争するに当り新労本部はじめ各単組の皆さんの御指導と御協力を重ねて御祈りし、御健闘を期待するもの切なるものがある。

地方便利

- | | |
|-------|---------|
| 執行委員長 | 林 正幸 |
| 副委員長 | 服部 則正 |
| 書記 | 小林 政則 |
| 執行委員 | 村島 隆 |
| | 大石 哲次郎 |
| | 松本 満子 |
| | 川崎 田次郎 |
| | 片岡 比佐子 |
| | 西岡 汝地子 |
| | 波多野 喜代子 |

又現在単組の副執行委員長の重責を持ち、単組の発展に大いに貢献し、同志会に温情を持って接し、明朗な性格は誰からも親しまれ、多くの業績を残したそのキャリアは、発展途上にある日赤新労の婦人部長として器用なその業務を全うする最適任者であることは言を疑はず、小崎執行委員長を中心とする新役員の本軸となり良き人間関係を作り、時には良きアシスタントとして充実した組織活動を築き、目的遂行の為に活躍されることと思ひます。

日赤新労の皆様、今後の活躍を期待され、共に育てるべく大いに努力し、新労の発展を祈念致します。

最後にあえて難と申せば、結婚

- | | |
|-------|---------|
| 執行委員長 | 石 橋 恭藏 |
| 副委員長 | 大 畑 源石 |
| 書記 | 竹 洞 恵子 |
| 執行委員 | 王 藤 三夫 |
| | 小 野 誠正 |
| | 大 久 保 弘 |
| | 大 田 中 浩 |
| | 安 永 浩治 |
| | 伊 豆 仁 雄 |
| | 野 沢 三 子 |
| | 和 久 三 子 |
| | 大 入 捷 勇 |
| | 大 橋 ヤ サ |

- | | |
|-------|--------|
| 執行委員長 | 高 崎 耕一 |
| 副委員長 | 飯 田 章 |
| 書記 | 高 崎 耕一 |
| 執行委員 | 高 崎 耕一 |

- | | |
|-------|---------|
| 執行委員長 | 石 橋 恭藏 |
| 副委員長 | 大 畑 源石 |
| 書記 | 竹 洞 恵子 |
| 執行委員 | 王 藤 三夫 |
| | 小 野 誠正 |
| | 大 久 保 弘 |
| | 大 田 中 浩 |
| | 安 永 浩治 |
| | 伊 豆 仁 雄 |
| | 野 沢 三 子 |
| | 和 久 三 子 |
| | 大 入 捷 勇 |
| | 大 橋 ヤ サ |

残暑御見舞
申上げます
新労役員一同